

flowbee 取り扱い説明書

フロービーの使用方法について

1:まず髪の毛をどのようにカットするのかを決めます。

基本的には揃えて(掃除機で吸引)しフロービーの刃でカットしその毛はすい込まれていきます。頭部、耳の周り、頭部裏、襟首の大体4つの長さのスペーサーを決めておきます。決め方はスペーサーを頭部に当て直接決める方法が良いと思います。

2:フロービーのセットアップ

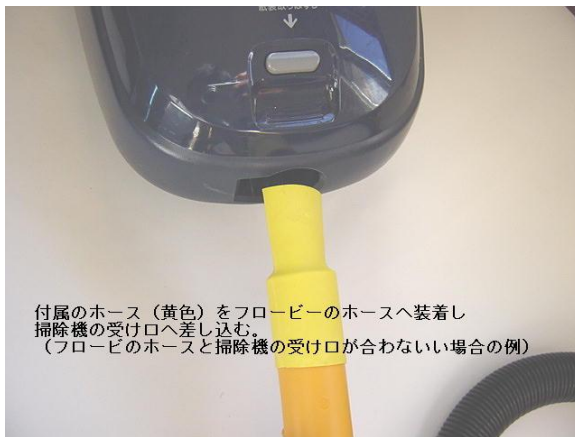


- 左の写真のような内容です。基本的に説明書は web で閲覧いただけます。CD や紙媒体での提供はいたしておりません。



- カットの前に油を軽く(にじむ)程度刃全体につけてください。つけ過ぎないようにして下さい。
- 初めて使用のときは、開口部内側(刃の付け根)へ注油のこと。その後刃の動きが鈍くなる場合は、開口部内側(刃の付け根)のまわりへの注油をおこなう。

- 掃除機のホースの受け口プラスチックアダプターをつけフロービーのホースをセット。
- 掃除機の吸引力で毛を吸い上げてカットしますので完全に合致させます。



付属のホース（黄色）をフロービーのホースへ装着し掃除機の受け口へ差し込む。
（フロービーのホースと掃除機の受け口が合わない場合の例）

- 付属の黄色ゴムアダプターホースについて
（通常は使用しなくてもよい）
- これは掃除機とフロービーのホースが合わない場合に継ぎ手として使います。あまり吸い込みがある場合は掃除機のホースとフロービーのホースをゴムアダプターで連結してください。



掃除機のホースとゴムのホースで接続

- 掃除機のホースとフロービーのホースをゴムの継ぎ手で接続
- 掃除機のホースの方が細かい場合はゴムアダプターを巻きつけるようにしてとめてもいいと思います。いろいろな掃除機のホースがありますのでちょっと工夫が必要です。
- 専用の身にバキュームを販売しております。詳細は uslmart.com まで。



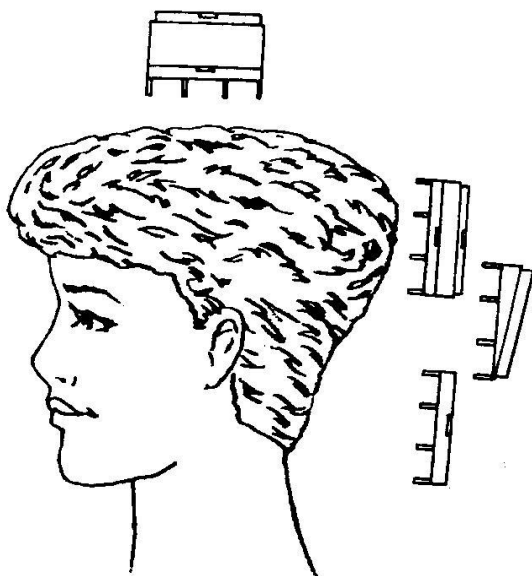
- 2つのコンセント(電源)を使います。
- 一つは掃除機、もう一つはフロービーのアダプターです。

3:カットの準備

1:カットする長さの決定



- まず長さをはかります。Spacerで直接あてて計ります。
- どこをどのぐらいカットするかを決定しながら進めます。
- 最初は短いSpacerでカットしないほうが良いでしょう。長めでカットしていきます。



2:髪の中の場所によりSpacerを選択する。

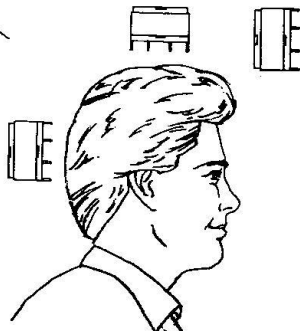
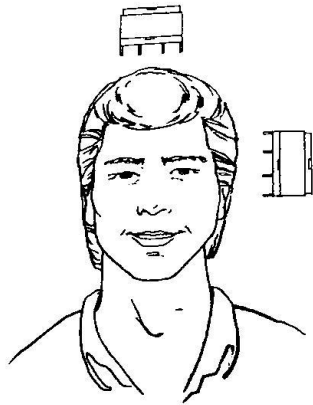
例1:

上部: 平行吸い込み + 中間Spacer

後部上: 平行吸い込み + 小Spacer

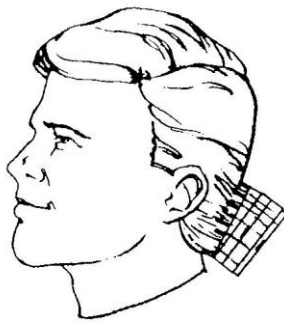
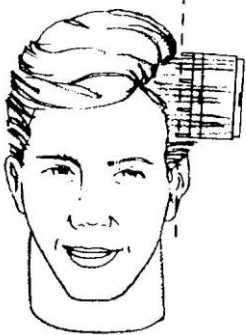
後部中: 斜め吸い込み + 小Spacer

後部下: 平行吸い込みのみ



例2:

すべて平行吸い込み+中間スペーサー
を使用

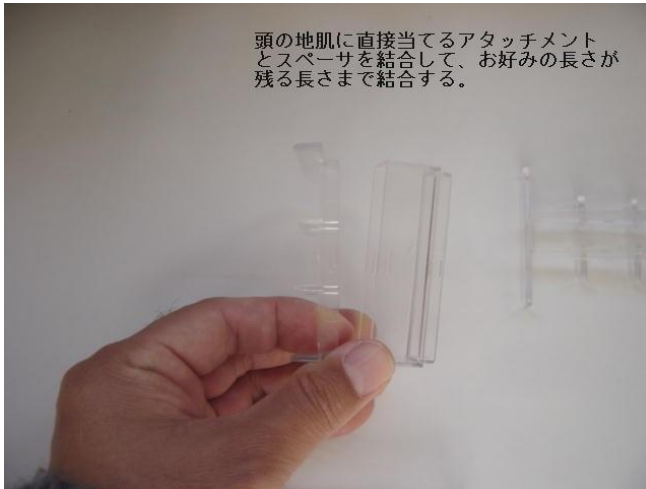


例3:

耳の周りは 斜め吸い込み+小スペーサー
を使用



- この平行吸い込みスペーサーは最低の長さです。これ以下の長さはありません。

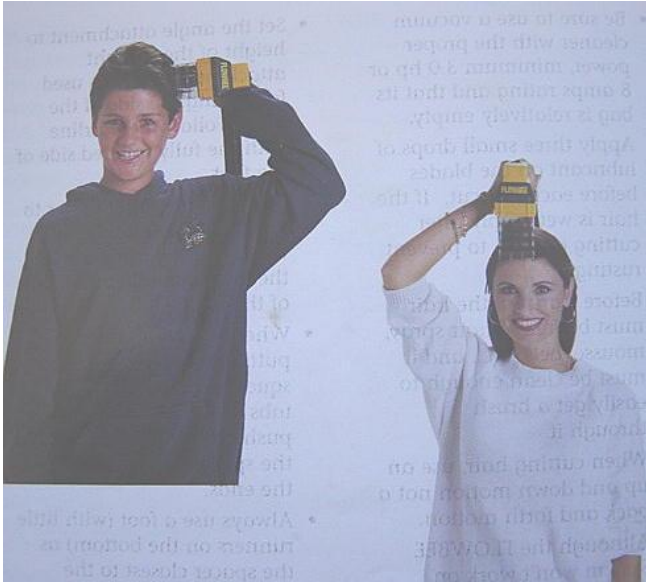


- カットする長さを決定します。



好みの スペーサーを装着し

1. 掃除機の電源を入れる
2. フロービーの電源を入れる
3. フロービーが元気に刃を動作させます



- 本体を手で持ち上下をしながら髪の毛が吸い込みやすいようにしてカットしていきます。
- **くれぐれも耳の周りのカットには注意してください。**
- **スパーサーなしでのカット作業はしないで下さい。**

あとは繰り返しです。

- 一人でもできますが後部は見えにくいのでどなたかにやっていただくのも良いかと思います。

それではベストヘアカットिंगをどうぞ。

さらに詳しくは次のページをご覧ください。

おねがい

- ・ フロービー・システムを使用するまえに、取扱説明書を最後までお読みください。
- ・ はじめてカットするまえに、スぺーサーの扱いに慣れてください。スぺーサーは、好みのヘアスタイルに仕上げる鍵です。
- ・ 電気掃除機の中にたまったゴミをからにしてから始めて下さい。
- ・ フット（下にランナーのついた）をスぺーサーにとりつけ、頭皮に最も近づくようにします。
- ・ 長い髪の毛から最初にカットします。
- ・ カットを始めるまえに、フロービー用潤滑油を3滴程カッターのブレードにつけ、スイッチを入れまんべんなくならします。

フロービーではいけないこと

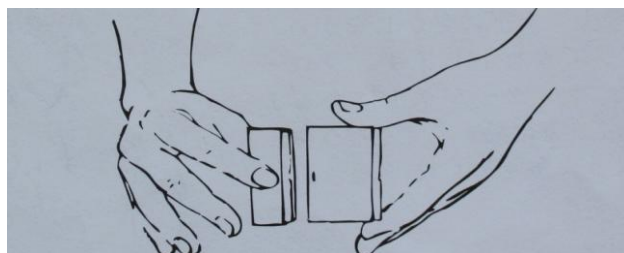
- ・ 取り扱い説明書を読まずに、いきなり髪をカットしないで下さい。
- ・ 一度に1/2インチ(1.25cm)以上カットしないで下さい。
- ・ 髪の毛がすべて切れる前に、一度カットした部分に戻ってまたカットしないで下さい。
- ・ フロービーを斜めにして使わないで下さい。(アングル・スぺーサー使用時以外)
- ・ スぺーサーなしでフロービー・システムを使用しないで下さい。
- ・ こどもをフロービー・システムで遊ばせないで下さい。
- ・ 普通の機械油を差さないで下さい。
- ・ 刃を直に触れられないで下さい。
- ・ カットする際に、吸入口を直接耳にあてないでください。
- ・ えりあし等をカットする際に、耳たぶがすいこまれないよう十分注意してください。
- ・ ペットの毛をカットする場合、皮をすいこんでしまう危険性がありますので、十分注意してください。
- ・ フロービー・システムを使うのを忘れないでください。

カットの準備

ステップ1

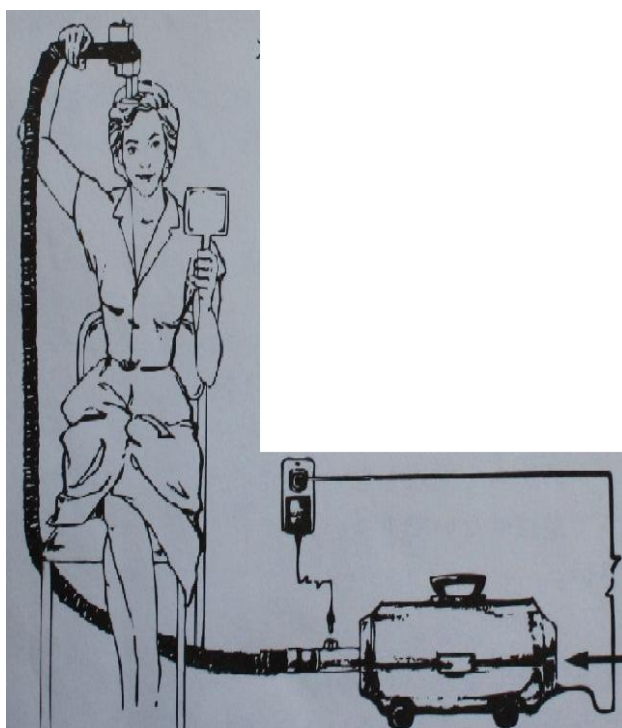
スぺーサーに慣れます。スぺーサーはきれいなスタイルを作る鍵です。スぺーサーにはタブ（凸）は2つ、スロット（長穴）が2つついていて、ぴったりはまります。はめたりとったり、スムーズにできるように練習して下さい。

ヒント：スぺーサーの端を持って、もひとつのスぺーサーのタブのそばの中央部を軽く押さええます。



ステップ 2

頭の上の部分からはじめます。スパーサーにフットをつけて頭に当て、適切なサイズのスパーサー1つ、またはスパーサーを組み合わせたものを選びます。次に、スパーサーの端から1.25cm以上髪の毛が出ないように、スパーサーをとりかえます。適切な高さになるようにスパーサーの組み合わせを考えてください。



ステップ 3

段ボール箱の中にヘア・カッター(フロービー・ヘッド)と AC アダプターが入っています。ホースの端についている大きなものがヘア・カッターです。もう一方の端は、電気掃除機に直接、またはぴったりフィットするようにホース・アダプター(大きなゴムバンドまたはプラスチックアダプター)を使って、ホースにつなぎます。

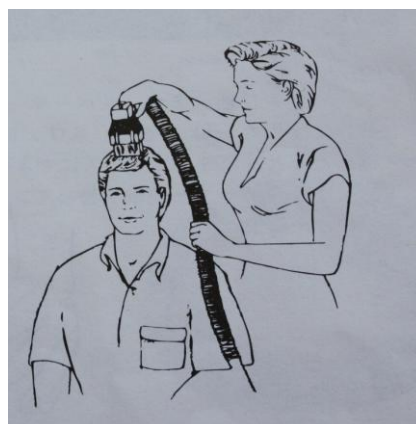
(電気掃除機と、フロービーのホースが接し、ホースアダプターがたるまないようにしてください) 白い箱にはいっている AC アダプターは、壁のコンセントに差し込んで下さい。もう一方の端は、フロービー・ヘッドのホースの端にあるプラグに差し込みます。

さて、カットを始める前に、フロービー用潤滑油をカッターのブレードに数滴程つけ(刃の周りに)、スイッチを入れてまんべんなくならします。

カットのテクニック

ステップ 4

- 頭の上から始め、長い髪の毛から最初にカットします。ステップ 2 で選んだスパーサーをあてて、フロービーのスイッチを入れてから、電気掃除機

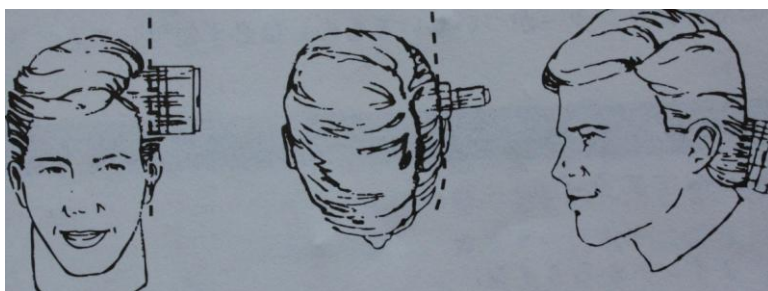


- のスイッチをいれます。フロービーのスイッチは、フロービー・ヘッド上部にあります。
- ・ フロービーを頭の上で上下に動かしながら、長い髪の毛をすべてカットします。フロービーのヘッドは、カッターが水平になるように、必ずまっすぐに上下に動かしてください。横にずらさないように気をつけてください。

ステップ5

次に、サイドまたは今切った部分より短くしたい部分をカットします。カットする部分を、ステップ2で行ったように髪の毛がスパーサーよりも1センチ強、長めになるように、スパーサーをあてて測ります。このスパーサー(または組み合わせたスパーサー)を使ってカットを続けます。

頭のサイドの髪の毛をカットするには、カッターが垂直になるように(下図中央)フロービーを持ちます。これにより、頭のトップとサイドの髪の毛の長さに変化がつけられます。



ステップ6

最後に、スパーサーの長い部分が、サイドの長い髪の毛をカットしたときに使ったスパーサーの長い部分に合うように、アングル・スパーサーをつけます。耳のまわりとえりあしをカットします。えりあしは次第に短くなるようにカットし、プロのカットのように仕上げます。

耳のまわりやもみあげ、えりあしなどの仕上げには、はさみやトリマーを使ってカットしてもけっこうです。

(はさみは商品に含まれておりません)

重要なポイント

- ・ 適切な電気掃除機を使用して、中にたまったゴミを捨ててからカットを始めてください。
- ・ カットを始めるまえに潤滑油をブレードに数滴つけ、スイッチを入れまんべんなくならして下さい。また、ぬれた髪の毛をカットするときは、カットのあとに、潤滑油をつけてください。これは、錆びを防ぐためです。
- ・ カットするときは、ヘアスプレー、ムース、ジェルなどのついていない髪の毛に、ブラシがスムーズに通る程度、清潔な状態で、カットを始めてください。
- ・ カットするときは、カットする頭に対しスパーサーが垂直になるようにヘッドを上下に

動かしてください。横に動かさないでください。

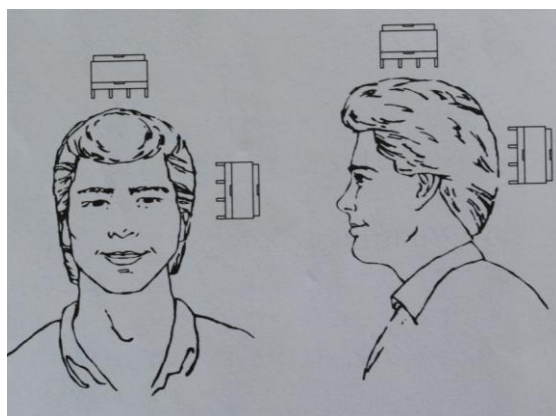
- ・ フロービー・システムはアフロヘアには使用できませんが、かたい髪や少しカールした髪には使用できます。髪のを濡らしてカットするとうまく仕上がります。
- ・ アンクル・フットは、サイドの髪のをカットするときに使ったストレート・フットの高さに合うようにセットしてください。髪のはえぎわは、フットの一番細くなった部分に沿ってカットしてください。
- ・ 左のサイドから右のサイドに移るときに、アンクル・フットをひっくり返して使用するとカットがしやすくなります。
- ・ スペーサーをくっつけたり離したりするときは、スペーサーの端を持ち、もう1つのスペーサーの真ん中にあるタブの部分を押すと、うまくできます。
- ・ フット(下の部分にライナーがついているもの)は必ず使用してください。

男性のヘアスタイル

・ワンレングスのヘアスタイル

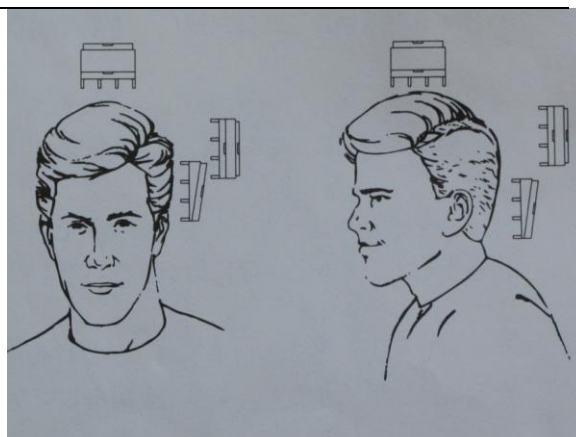
髪全体を1/2インチから6インチ(約1～15cm)ワンレングスにします。カットする髪が一番長い部分がスペーサーから1センチ強以上でないようにスペーサーを選び、髪全体をこのスペーサーを使ってカットします。髪を少し短くしたい場合は、もう1cm強短くなるようにスペーサーを選んでカットします。

このようにして、髪全体が好みの長さになるようにカットします。



一般的なスタイル

頭のトップが一番長く、サイドとバックの髪をだんだんに短くするには、まずトップだけをカットします。1cm強髪がカットされるようにスペーサーを選び、トップの髪をまずカットします。サイドを長めに仕上げたい場合は、同じスペーサーを使ってサイドもカットします。一般的なスタイルにするには、少し短いスペーサーに取り替えて、サイドをカットします。アンクル・フットを使って、耳のまわりやえりあしを仕上げます。



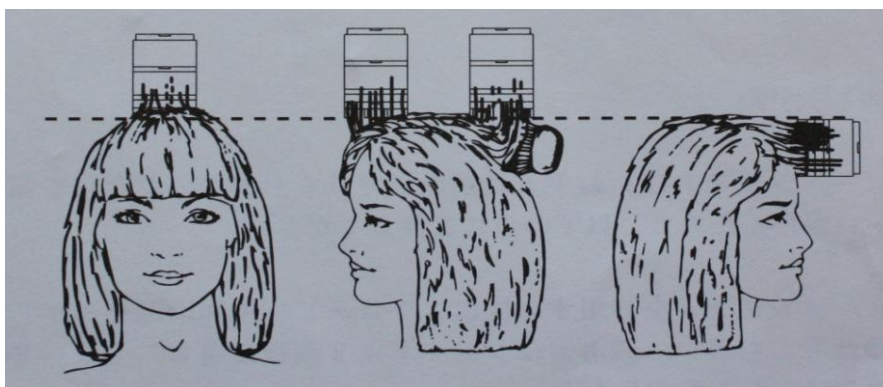
このヘアスタイルは、頭の部分により長さを変えていろいろなスタイルに仕上げることができます。フロービー・システムでカットしたあと、少しはさみを使って仕上げることができます。

女性のヘアスタイル

・レイヤード(段カット)

このスタイルは、自分でするのではなく、フロービーを使って誰かにカットしてもらうほうが、綺麗にしあがります。

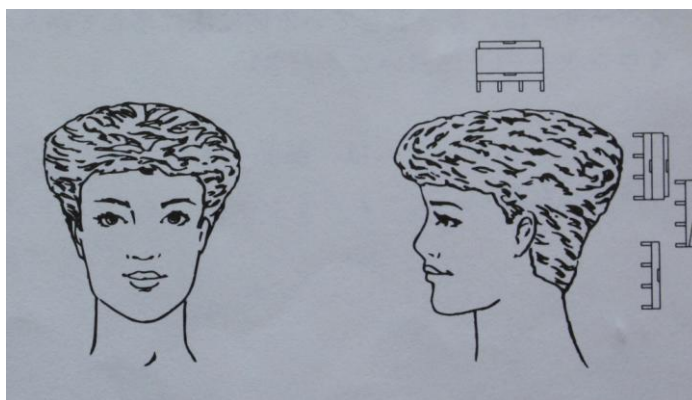
まず、頭のトップからカットする髪の毛の長さが1 cm強の長さになるスパーサーの組み合わせ(6インチ、約15 cmの高さまで)を選びます。トップをカットしたら、フットはそのままにして、そのまわりの次の段の毛を吸い込ませ、その部分をカットします。フロービーのヘッドを高い位置に、カッターは水平に保ち、段々に下の部分をカットします。カットがうまくできたか確かめるために、髪の毛をすべて上にあげてみて、どのレイヤーも頭の上のおなじ位置まで届くようにカットできていたら、出来上がりです。



・ウェッジ

横に張り出した部分のボリューム感は、カットする長さにより変わります。スパーサーは3インチ(約7.5 cm)の高さになるように組み合わせて、長さを合わせてみます。髪の毛はすべておなじ長さにカットします。1度に1センチ強以上切らないように気をつけます。髪の毛が同じ長さになったら、アングル・スパーサーを使って周辺部を少し短くカットします。

ウェッジは好みにより、髪の毛を長くも短くもできます。髪を短く切った場合は、えり足に向かってだんだんに短くカット



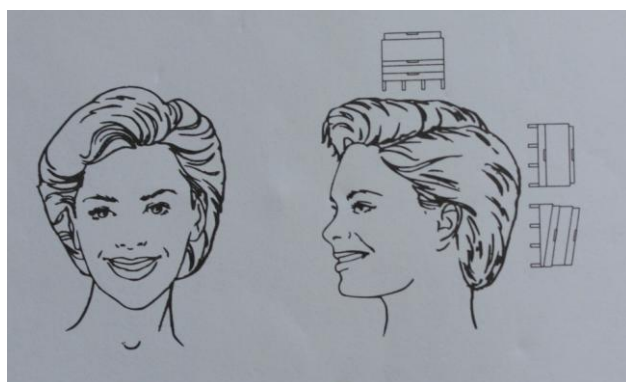
していきます。

・ショートレイヤー

スパーサーを使ってトップの髪の毛の長さを測り、6.5から7.5cmくらいの長さにカットします。

次に、スパーサーの高さを1cm強低くして、サイドの髪の毛を、片方からぐるりともう一方までカットします。さてここで、好みにより、スパーサーをさらに1cm強短くして耳の部分とえりあしを、アングルではなくストレート・スパーサーでカットして仕上げます。

髪全体が均一に流れるような感じに仕上がるように、一度に髪の毛を少量だけカットします。



お手入れの仕方

フロービー・システムは、お手入れが簡単で長くお使いいただける電気器具です。長くお使いいただくために、以下の点にご注意ください。

- ・ フロービー・システムを使用する度に、フロービー用潤骨油をヘア・カッターのブレードにつけてください。潤骨油はブレードに3滴程使用し、10～20秒スイッチをいれ、まんべんなくならします。
- ・ 濡れた髪の毛をカットした後は、錆びを防ぐためにブレードに潤骨油をつけてください。
- ・ 必ずフロービー用の潤骨油をご使用ください。それ以外の油を使用すると、カッターのスピードが落ちたり、動かなくなったりすることもあります。
- ・ スパーサーは、カットしている間に床に落ちて踏みつけることのないように、箱か、カウンターの上においてください。
- ・ フロービー・システムは、部品をすべてまとめて箱の中にしまい、損傷のないようにご注意ください。